

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	Let's Start 1～4	(1) ア (2) アイ (3) ① ウ(ア) (イ)	●中学までに学習した「アルファベット」「品詞」「つなぎ言葉」「語順」について、イラストなどを参考にして、理解することができる。 ●中学までに学習した「アルファベット」「品詞」「つなぎ言葉」「語順」について、理解して言語活動へつなげることができる。	Let's Start 1 アルファベット	「アルファベット」の大文字と小文字および単語を書く。					○	[知識] 中学までに学習した「アルファベット」「品詞」「つなぎ言葉」「語順」について、イラストなどを参考にして、理解している。	中学までに学習した「アルファベット」「品詞」「つなぎ言葉」「語順」について、イラストなどを活用しながら理解している。	中学までに学習した「アルファベット」「品詞」「つなぎ言葉」「語順」について、主体的に、イラストなどを活用しながら理解しようとしている。	[4]
				Let's Start 2 品詞	主な「品詞」の位置や働きなどを、イラストなどを参考にして理解する。						[技能] 中学までに学習した「アルファベット」「品詞」「つなぎ言葉」「語順」について理解し、円滑に言語活動を行う技能を身に付けている。			
				Let's Start 3 つなぎ言葉	主な「つなぎ言葉」の意味を理解して、まとまった文章を書くことにつなげる。									
				Let's Start 4 語順	基本となる英語の文の語順を理解する。									

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	Lesson 2	(1) ア Famous People この人は何をした人？ (2) アイ (3) ① ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) ウ(ア) (イ)	●相手にその人の魅力が伝わるように、紹介したい「歴史上の人物」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●相手にその人の魅力が伝わるように、紹介したい「歴史上の人物」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。 [Sや] 紹介したい「歴史上の人物」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 ((L)) 「歴史上の人物」についての対話を聞いて、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ることができる。 [W] 紹介したい「歴史上の人物」について、自分の考えや気持ち、情報などを、与えられたフォーマットを参考に、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。 [S発] 相手にその人の魅力が伝わるように、紹介したい「歴史上の人物」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いた内容を基にして、理由とともに話して伝えることができる。	Start Up Vocabulary Key Expressions キーセンテンス Pair Work Listening Listening Useful Expressions My Opinion メモ欄 Functional Expressions Speech GOALの活動 Tips Grammar for Communication	「歴史上の人物」について、主な語句を理解する。 「歴史上の人物」について、過去形(be動詞/一般動詞)を用いて、対話をする。 「歴史上の人物」について、過去形(be動詞/一般動詞)を用いて、対話をする。 「歴史上の人物」について、対話の概要や要点を聞き取る。 「歴史上の人物」に関連する内容で、過去形(be動詞/一般動詞)を用いた表現を理解する。 「歴史上の人物」について、「Hints」を参考にして、情報や考えをメモとして書く。 「発表の始めと終わり」に関する表現について、いろいろな表現を理解する。 「歴史上の人物」について、自分の考えや気持ち、情報などを書いてまとめた文を用いて、発表する。 発話の際の「文強勢」について理解する。 過去形 (be動詞/一般動詞) の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。	(L) (R) Sや S発 W	[知識] 相手にその人の魅力が伝わるために必要となる「過去形 (be動詞/一般動詞)」に関する事項を理解している。 「発表の始めと終わり」の表現の意味や働きを理解している。 [技能] [Sや] 紹介したい「歴史上の人物」について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。 ((L)) 「歴史上の人物」についての対話を聞いて、内容を聞きとる技能を身に付けている。 [W] 紹介したい「歴史上の人物」について、「発表の始めと終わり」の表現などを用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝える技能を身に付けている。 [S発] 相手にその人の魅力が伝わるように、紹介したい「歴史上の人物」について、「発表の始めと終わり」の表現などを用いて、自分の考えや気持ち、情報などを書いてまとめた文を基に、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	[Sや] 「歴史上の人物」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。 ((L)) 「歴史上の人物」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取っている。 [W] 紹介したい「歴史上の人物」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝え合っている。 [S発] 相手にその人の魅力が伝わるように、紹介したい「歴史上の人物」について書いてまとめた文を基に、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えている。	[Sや] 「歴史上の人物」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。 ((L)) 「歴史上の人物」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ろうとしている。 [W] 紹介したい「歴史上の人物」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えようとしている。 [S発] 相手にその人の魅力が伝わるように、紹介したい「歴史上の人物」について書いてまとめた文を基に、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えようとしている。	3				

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間	
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
5	Lesson 3 Aquarium Adventure 今、クラゲ に夢中だ よ！	(1) ア (2) アイ (3) ① ア(ア) (イ) ウ(ア) (イ)	●SNSで伝えられるように、「今していること」や「過去にしていたこと」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●SNSで伝えられるように、「今していること」や「過去にしていたこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。 [Sや]「今していること」や「過去にしていたこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 ((L))「今していること」や「過去にしていたこと」についての対話を聞いて、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ることができる。 [W]「今していること」や「過去にしていたこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを与えられたフォーマットを参考に、基本的な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。	Start Up Vocabulary Key Expressions Pair Work Listening Useful Expressions My Opinion Functional Expressions Writing GOALの活動 Tips Grammar for Communication	「今していること」や「過去にしていたこと」について、主な語句を理解する。 「今していること」や「過去にしていたこと」について、現在進行形および過去進行形を用いて、対話をする。 「今していること」や「過去にしていたこと」について、現在進行形および過去進行形を用いて、対話をする。 「今していること」や「過去にしていたこと」について、対話の概要や要点を聞き取る。 「今していること」や「過去にしていたこと」に関連する内容で、現在進行形および過去進行形を用いた表現を理解する。 「今していること（過去にしていたこと）」について、「Hints」を参考にし、情報や考えをメモとして書く。 「許可を求める」表現について、理解する。 「今していること」や「過去にしていたこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを書いてまとめる。 「話題を変える時」の書き方について理解する。 現在進行形および過去進行形の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。				○			[知識] SNSで伝えられるために必要となる「現在進行形」および「過去進行形」に関する事項を理解している。 「許可を求める」表現の意味や働きを理解している。 [技能] [Sや]「今していること」や「過去にしていたこと」について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。 ((L))「今していること」や「過去にしていたこと」についての対話を聞いて、内容を聞き取る技能を身に付けている。 [W]「今していること」や「過去にしていたこと」について、「許可を求める」表現などを用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝える技能を身に付けている。	[Sや]「今していること」や「過去にしていたこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。 ((L))「今していること」や「過去にしていたこと」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取っている。 [W] SNSで伝えられるように、「今していること」や「過去にしていたこと」について、情報や自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えている。	[Sや]「今していること」や「過去にしていたこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。 ((L))「今していること」や「過去にしていたこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えようとしている。	3

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
5	Activity Station 1 やり取りのコツ	(1) ア (2) アイ (3) ① ア(ア) (イ)	<p>●効果的な「やり取り」について、理解することができる。</p> <p>●「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。</p> <p>[Sや]「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。</p>	場面	「日常的な話題」や「社会的な話題」に関する対話の概要や要点、必要な情報を、より自然なやり取りの中で、聞いたり話したりする。			○			[知識] やり取りを円滑にするために必要な表現を理解している。	[Sや]効果的なやり取りをするために、「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。	[Sや]効果的なやり取りをするために、「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。	1
				「やり取り」に役立つ表現	「『やり取り』に役立つ表現」について、いろいろな表現を理解する。									
				Let's Try	「日常的な話題」や「社会的な話題」についてやり取りする中で、適切な表現を選んで対話をする。			○						
				「やり取り」のポイント	「やり取り」をする際の態度について、注意すべきことへの理解を深める。									
				Follow Up	「日常的な話題」や「社会的な話題」について、「やり取り」に役立つ表現などを参考にして、対話をする。			○						

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
5	Daily Conversati on 1	(1) ア (2) アイ 「買い物」 の表現 Can I try it on?	●海外で買い物をするため に、「買い物」に関する表現 を、理解することができる。 ●海外で買い物をするため に、「買い物」に関する表現 を用いて、自分の考えや気持 ち、情報などを、論理の構成 や展開を工夫して、やり取り することができる。 [Sや]「買い物」について、 自分の考えや気持ち、情報な どを、論理の構成や展開を工 夫して、話して伝え合うこと ができる。	場面 その他の表現	「買い物」に関する主な語句や表現を理解 する。 「買い物」に関するその他の表現につい て、理解を深める。			○			[知識] 海外で買い物をするために、 「買い物」に関する表現の意味 や働きを理解している。 [技能] [Sや]「買い物」について、相 手の発言を促す質問やそれに答 える表現などを用いて、論理の 構成や展開を工夫して、話して 伝え合う技能を身に付けてい る。	[Sや] 海外で買い物をするため に、「買い物」に関して、自分 の考えや気持ち、情報などを、 論理の構成や展開を工夫して、 話して伝え合っている。	[Sや] 海外で買い物をするため に、「買い物」に関して、自分 の考えや気持ち、情報などを、 論理の構成や展開を工夫して、 話して伝え合おうとしている。	1

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間			
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
6	Lesson 5 UFO Sightings キミはUFOを見たことがあるか?!	(1) ア (2) アイ (3) ① ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) ウ(ア) (イ)	<p>●「自分が経験したこと」を紹介するために、「経験」についての表現を理解して、考えを深めることができる。</p> <p>●「自分が経験したこと」について紹介するために、自分の考えや気持ち、情報などをまとめ、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。</p> <p>[Sヤ]「自分が経験したこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。</p> <p>((L))「経験したこと」についての対話を聞いて、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ることができる。</p> <p>[W]「自分が経験したこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを与えられたフォーマットを参考に、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。</p> <p>[S発]「自分が経験したこと」を紹介するために、自分の考えや気持ち、情報などを、書いた内容を基にして、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。</p>	Start Up	Vocabulary	「自分が経験したこと」について、主な語句を理解する。						[知識] 「自分が経験したこと」を紹介するために必要となる「現在完了形(経験/継続)」に関する事項を理解している。	[Sヤ]「自分が経験したこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝えている。	[Sヤ]「自分が経験したこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝えようとしている。	3		
				Key Expressions	キーセンテンス	「自分が経験したこと」について、現在完了形(経験/継続)を用いて、対話をする。				○			[技能] 「聴衆を引きつける」表現の意味や働きを理解している。	((L))「経験したこと」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取っている。		((L))「経験したこと」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ろうとしている。	
				Listening	Listening	「自分が経験したこと」について、対話の概要や要点を聞き取る。				(○)				[Sヤ]「自分が経験したこと」について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技術を身に付けている。		[W]紹介したい「自分が経験したこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えている。	[W]紹介したい「自分が経験したこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えようとしている。
					Useful Expressions	「自分が経験したこと」に関連する内容で、現在完了形(経験/継続)を用いた表現を理解する。											
				My Opinion	メモ欄	「自分が経験したこと」について、「Hints」を参考にして、情報や考えをメモとして書く。							○	((L))「経験したこと」についての対話を聞いて、内容を聞きとる技能を身に付けている。		[S発]「自分が経験したこと」を紹介するために、「経験」について書いてまとめた文を基に、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えている。	[S発]「自分が経験したこと」を紹介するために、「経験」について書いてまとめた文を基に、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えようとしている。
					Functional Expressions	「観衆を引きつける」表現について、いろいろな表現を理解する。											
				Speech	GOALの活動	「自分が経験したこと」について、自分の考えや気持ち、情報などを書いてまとめた文を用いて、発表する。							○	[W]「自分が経験したこと」について、「聴衆を引きつける」表現などを用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝える技能を身に付けている。			
					Tips	発話の際の「音のつながり」について理解する。											
				Grammar for Communication		現在完了形(経験/継続)の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。						○		[S発]「自分が経験したこと」を紹介するために、「経験」について、「聴衆を引きつける」表現などを用いて、自分の考えや気持ち、情報などを書いてまとめた文を基に、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。			

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
7	Lesson 6	(1) ア (2) アイ (3) ① ホームステイにチャレンジ! ア(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	<p>●英語でEmailを書くために、「完了したこと」や「継続していること」などについての表現を理解して、考えを深めることができる。</p> <p>●英語でEmailを書くために、「完了したこと」や「継続していること」などについて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。</p> <p>[Sや]「完了したこと」や「継続していること」などについて、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。</p> <p>〔L〕「完了したこと」や「継続していること」などについての対話文を聞いて、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ることができる。</p> <p>[W]英語でEmailを書くために、「完了したこと」や「継続していること」などについて、自分の考えや気持ち、情報などを与えられたフォーマットを参考に、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。</p>	<p>Start Up</p> <p>Vocabulary</p> <p>「ホームステイ」などについて、主な語句を理解する。</p> <p>Key Expressions</p> <p>キーセンテンス</p> <p>「完了したこと」や「継続していること」などについて、現在完了形（完了 / 現在完了進行形）を用いて、対話をする。</p> <p>Pair Work</p> <p>「完了したこと」や「継続していること」などについて、現在完了形（完了 / 現在完了進行形）を用いて、対話をする。</p> <p>Listening</p> <p>Listening</p> <p>「完了したこと」や「継続していること」などについて、対話の概要や要点を聞き取る。</p> <p>Useful Expressions</p> <p>「完了したこと」や「継続していること」などに関連する内容で、現在完了形（完了 / 現在完了進行形）を用いた表現を理解する。</p> <p>My Opinion</p> <p>メモ欄</p> <p>「完了したこと」や「継続していること」について、「Hints」を参考にして、情報や考えをメモとして書く。</p> <p>Functional Expressions</p> <p>「メールのあいさつ」での表現について、いろいろな表現を理解する。</p> <p>Writing</p> <p>GOALの活動</p> <p>（ホストファミリーへ送るメールの設定で、「完了したこと」や「継続していること」について、自分の考えや気持ち、情報などを書いてまとめる。</p> <p>Tips</p> <p>「メールのあいさつ」での書き方について理解する。</p> <p>Grammar for Communication</p> <p>現在完了形（完了 / 現在完了進行形）の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。</p>	<p>(L)</p> <p>(R)</p> <p>Sや</p> <p>S発</p> <p>W</p> <p>(○)</p> <p>(○)</p> <p>(○)</p> <p>(○)</p> <p>(○)</p> <p>(○)</p> <p>(○)</p> <p>(○)</p>	<p>[知識]</p> <p>英語でEmailを書くために必要となる「現在完了形（完了 / 現在完了進行形）」に関する事項を理解している。</p> <p>「メールのあいさつ」での表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>[Sや]「完了したこと」「継続していること」について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、話して伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>〔L〕「完了したこと」「継続していること」についての対話文を聞いて、内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>[W]英語でEmailを書くために、「完了したこと」「継続していること」について、「メールのあいさつ」での表現などを用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝える技能を身に付けている。</p>	<p>[Sや]「完了したこと」「継続していること」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。</p> <p>〔L〕「完了したこと」「継続していること」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取っている。</p> <p>[W]英語でEmailを書くために、「完了したこと」「継続していること」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えている。</p>	<p>[Sや]「完了したこと」「継続していること」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。</p> <p>〔L〕「完了したこと」「継続していること」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ろうとしている。</p> <p>[W]英語でEmailを書くために、「完了したこと」「継続していること」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えようとしている。</p>	3					

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間	
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
7	Activity Station 2	(1) ア (2) アイ (3) ① ウ(ア)(イ)	●まとまった文章を書くために、「パラグラフの型」について、理解することができる。 ●「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などを論理的にまとめて、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。 [W]まとまった文章を書く上で、「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。	Let's Try Follow Up	「日常的な話題」や「社会的な話題」についてのまとまった文章を書くために、手順に沿って、自分の考えや気持ち、情報などを整理しながら書く方法を理解する。 「日常的な話題」や「社会的な話題」について、Let's Tryの手順に沿って書いてまとめる。						○	[知識] まとまった文章を書くために必要となる「パラグラフの型」を理解している。 [技能] [W]「日常的な話題」や「社会的な話題」について、「パラグラフの型」を用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝える技能を身に付けている。	[W]まとまった文章を書く上で、「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えている。	[W]まとまった文章を書く上で、「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えるようとしている。	1

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
7	Daily Conversati on 2	(1) ア (2) アイ (3) ① ア(ア)(イ)	●海外で食事をするために、「レストラン」「カフェ」での表現を、理解することができる。 ●海外で食事をするために、「レストラン」「カフェ」での表現を用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 [Sや]「レストラン」「カフェ」での表現について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。	場面 その他の表現	「レストラン」「カフェ」での表現に関する主な語句や表現を理解する。 「レストラン」「カフェ」での表現に関するその他の表現について、理解を深める。			○			[知識] 海外で食事をするために、「レストラン」「カフェ」での表現に関する表現の意味や働きを理解している。 [技能] [Sや]「レストラン」「カフェ」での表現について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。	[Sや]海外で食事をするために、「レストラン」「カフェ」での表現について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。	[Sや]海外で食事をするために、「レストラン」「カフェ」での表現について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。	1

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
10	Activity Station 3	(1) ア (2) アイ (3) ① イ(ア) (イ) のコツ	<p>●効果的な「スピーチ」や「プレゼンテーション」をするために、その「型」や「表現」について理解することができる。</p> <p>●「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などをまとめ、スピーチやプレゼンテーションをして表現することができる。</p> <p>[S発]スピーチやプレゼンテーションを行う上で必要となる「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などを、書いた内容を基に、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。</p>	<p>場面</p> <p>「スピーチ」のポイント</p> <p>Follow Up</p> <p>場面</p> <p>「プレゼンテーション」のポイント</p> <p>Follow Up</p>	<p>「日常的な話題」や「社会的な話題」について、「スピーチの型」に沿って発表する。</p> <p>「スピーチ」をする際の態度について、注意すべきことへの理解をする。</p> <p>「日常的な話題」や「社会的な話題」について、「スピーチの型」を参考にして文をまとめ、スピーチをする。</p> <p>「日常的な話題」や「社会的な話題」について、「プレゼンテーションの型」に沿って発表する。</p> <p>「プレゼンテーション」をする際の効果的なやり方について、注意すべきことへの理解をする。</p> <p>「日常的な話題」や「社会的な話題」について、「プレゼンテーションの型」を参考にして文をまとめ、適宜、スライドやグラフ・図表なども用いてプレゼンテーションをする。</p>				○		<p>[知識] 効果的なスピーチやプレゼンテーションをするために必要となる「スピーチの型」や「プレゼンテーションの型」、そして、それぞれの発表に必要な表現を理解している。</p> <p>[技能] [S発]「日常的な話題」や「社会的な話題」について、「スピーチ」や「プレゼンテーション」の型に沿って、必要な表現を用い、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。</p>	<p>[S発]スピーチやプレゼンテーションをする上で、「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えている。</p>	<p>[S発]スピーチやプレゼンテーションをする上で、「日常的な話題」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えようとしている。</p>	1

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
10	Daily Conversations 3	(1) ア (2) アイ (3) ① ア(ア) (イ)	●英語で道案内をするために、「道案内」の表現を理解することができる。 ●「道案内」の表現を用いて、自分の考えや気持ち、情報などをやり取りすることができる。 [Sや]「道案内」の表現について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合することができる。	場面 その他の表現	「道案内」の表現に関する主な語句や表現を理解する。 「道案内」の表現に関するその他の表現について、理解を深める。			○			[知識] 英語で道案内をするために、「道案内」の表現に関する表現の意味や働きを理解している。 [技能] [Sや]「道案内」の表現について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。	[Sや]英語で「道案内」をするために、「道案内」の表現について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。	[Sや]英語で「道案内」をするために、「道案内」の表現について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。	1

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間	
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
11	Lesson 10	(1) ア (2) アイ (3) ① ア(ア) (イ)	●さまざまな「芸術作品」について話すために必要な表現を理解して、考えを深めることができる。 ●さまざまな「芸術作品」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 [Sや]さまざまな芸術作品について話すために「芸術作品」について、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開に工夫して、話して伝え合うことができる。 ((L)) 「芸術作品」についての対話を聞いて、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ることができる。	Start Up Key Expressions Pair Work Listening Functional Expressions Pair Work Useful Expressions Game Grammar for Communication	Vocabulary キーセンテンス 「芸術作品」について、受動態を用いて、自分のことに変えて対話をする。 Listening 「同意する」表現について、いろいろな表現を理解する。 「同意する」表現を用いて、対話をする。 「芸術作品」に関連する内容で、受動態を用いた表現を理解する。 GOALの活動 受動態の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。	「芸術作品」について、主な語句を理解する。 「芸術作品」について、受動態を用いて、対話をする。 「芸術作品」について、受動態を用いて、自分のことに変えて対話をする。 「芸術作品」について、対話の概要や要点を聞き取る。 「同意する」表現について、いろいろな表現を理解する。 「同意する」表現を用いて、対話をする。 「芸術作品」に関連する内容で、受動態を用いた表現を理解する。 「芸術作品」について、与えられた語句を用いながら、受動態の文を作るゲームをする。	(L)	(R)	Sや	S発	W	[知識] さまざまな「芸術作品」について話すために必要となる「受動態」に関する事項を理解している。 「同意する」表現の意味や働きを理解している。 [技能] [Sや]さまざまな「芸術作品」について話すために、「芸術作品」について、「同意する」表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。 ((L)) 「芸術作品」についての対話を聞いて、内容を聞き取る技能を身に付けている。	[Sや]さまざまな芸術作品について話すために、「芸術作品」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。 ((L)) 「芸術作品」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取っている。	[Sや]さまざまな芸術作品について話すために、「芸術作品」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。 ((L)) 「芸術作品」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ろうとしている。	2

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
11	Lesson 11 My Future Job あなたは将来どんな人？	(1) ア (2) アイ (3) ① ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	<p>●「将来なりたい職業」について発表するために、「職業」についての表現を理解して、考えを深めることができる。</p> <p>●「将来なりたい職業」について発表するために、「職業」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。</p> <p>[Sや]「将来なりたい職業」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。</p> <p>〔L〕「将来なりたい職業」についての対話を聞いて、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ることができる。</p> <p>[W]「将来なりたい職業」について、自分の考えや気持ち、情報などを与えられたフォーマットを参考に、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。</p> <p>[S発]「将来なりたい職業」について、自分の考えや気持ち、情報などを、書いた内容を基にして、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。</p>	<p>Start Up</p> <p>Key Expressions</p> <p>Pair Work</p> <p>Listening</p> <p>Useful Expressions</p> <p>My Opinion</p> <p>Functional Expressions</p> <p>Speech</p> <p>GOALの活動</p> <p>Tips</p> <p>Follow Up</p> <p>Grammar for Communication</p>	<p>Vocabulary</p> <p>キーセンテンス</p> <p>Pair Work</p> <p>Listening</p> <p>Useful Expressions</p> <p>メモ欄</p> <p>Functional Expressions</p> <p>GOALの活動</p> <p>Tips</p> <p>Follow Up</p>	<p>「将来なりたい職業」について、主な語句を理解する。</p> <p>「将来なりたい職業」について、不定詞(名詞的用法)および動名詞を使って、対話をする。</p> <p>「将来なりたい職業」について、不定詞(名詞的用法)および動名詞を使って、対話をする。</p> <p>「将来なりたい職業」について、対話の概要や要点を聞き取る。</p> <p>「将来なりたい職業」に関連する内容で、不定詞(名詞的用法)および動名詞を用いた表現を理解する。</p> <p>「将来なりたい職業」について、「Hints」を参考にして、情報や考えをメモとして書く。</p> <p>「順序を述べる」表現について、いろいろな表現を理解する。</p> <p>「将来なりたい職業」について、自分の考えや気持ち、情報などを書いてまとめた文を用いて、発表する。</p> <p>発話の際の「文強勢」について理解する。</p> <p>「将来なりたい職業」について、スピーチを聞いたあとに質問をして対話をする。</p> <p>不定詞(名詞的用法)および動名詞の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。</p>	<p>(L)</p> <p>(R)</p> <p>Sや</p> <p>S発</p> <p>W</p> <p>(○)</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>[知識]</p> <p>「将来なりたい職業」について発表するために必要となる「不定詞(名詞的用法)」および「動名詞」に関する事項を理解している。</p> <p>「順序を述べる」の表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>[Sや]「将来なりたい職業」について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>〔L〕「将来なりたい職業」についての対話を聞いて、対話の内容を聞きとる技能を身に付けている。</p> <p>[W]「将来なりたい職業」について、「順序を述べる」表現などを用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝える技能を身に付けている。</p> <p>[S発]「将来なりたい職業」について、「順序を述べる」の表現などを用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、書いた内容を基にして、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。</p>	<p>[Sや]「将来なりたい職業」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合おうとしている。</p> <p>〔L〕「将来なりたい職業」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取っている。</p> <p>[W]「将来なりたい職業」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えようとしている。</p> <p>[S発]「将来なりたい職業」について書いてまとめた文を基に、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	3			

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
12	Lesson 12 World Heritage モン・サン・ミッシェルへの旅	(1) ア (2) アイ (3) ① ア(ア) (イ) ウ(ア) (イ)	<p>●「世界遺産」を紹介するホームページを作成するために、「世界遺産」についての表現を理解して、考えを深めることができる。</p> <p>●「世界遺産」を紹介するホームページを作成するために、「世界遺産」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。</p> <p>[Sや] 紹介したい「世界遺産」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。</p> <p>((L)) 「世界遺産」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ることができる。</p> <p>[W] 紹介したい「世界遺産」について、自分の考えや気持ち、情報などを与えられたフォーマットを参考に、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。</p>	<p>Start Up</p> <p>Vocabulary</p> <p>「世界遺産」について、主な語句を理解する。</p> <p>Key Expressions</p> <p>キーセンテンス</p> <p>「世界遺産」について、不定詞(副詞的用法 / 形容詞的用法)を用いて、対話をする。</p> <p>Pair Work</p> <p>「世界遺産」について、不定詞(副詞的用法 / 形容詞的用法)を用いて、対話をする。</p> <p>Listening</p> <p>Listening</p> <p>「世界遺産」について、対話の概要や要点を聞き取る。</p> <p>Useful Expressions</p> <p>「世界遺産」に関連する内容で、不定詞(副詞的用法 / 形容詞的用法)を用いた表現を理解する。</p> <p>My Opinion</p> <p>メモ欄</p> <p>「世界遺産」について、「Hints」を参考に、情報や考えをメモとして書く。</p> <p>Functional Expressions</p> <p>「出典・引用を示す」表現について、理解する。</p> <p>Writing</p> <p>GOALの活動</p> <p>「世界遺産」について、自分の考えや気持ち、情報などを書いてまとめる。</p> <p>Tips</p> <p>「何かを紹介するとき」の書き方について理解する。</p> <p>Grammar for Communication</p> <p>不定詞(副詞的用法 / 形容詞的用法)の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。</p>	<p>(L)</p> <p>(R)</p> <p>Sや</p> <p>S発</p> <p>W</p> <p>(○)</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>[知識]</p> <p>「世界遺産」を紹介するホームページを作成するために必要となる「不定詞(副詞的用法 / 形容詞的用法)」に関する事項を理解している。</p> <p>「出典・引用を示す」表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>[Sや] 紹介したい「世界遺産」について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、話して伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>((L)) 「世界遺産」についての対話を聞いて、内容を聞き取る技能を身に付けている。</p> <p>[W] 紹介したい「世界遺産」について、「出典・引用を示す」表現などを用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝える技能を身に付けている。</p>	<p>[Sや] 「世界遺産」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。</p> <p>((L)) 「世界遺産」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取っている。</p> <p>[W] 「世界遺産」を紹介するホームページを作成するために、紹介したい「世界遺産」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えている。</p>	<p>[Sや] 「世界遺産」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。</p> <p>((L)) 「世界遺産」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ろうとしている。</p> <p>[W] 「世界遺産」を紹介するホームページを作成するために、紹介したい「世界遺産」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えようとしている。</p>	3					

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
12	Activity Station 4	(1) ア (2) アイ (3) ① ア(ア) (イ)	<p>●効果的な「ディスカッション」をするために、その展開の仕方や意見を述べるときの表現について、理解することができる。</p> <p>●「日常的话题」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などをグループで話し合ったり、意見をまとめることができる。</p> <p>[Sや] ディスカッションをするために、「日常的话题」や「社会的な話題」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、グループで互いに意見を交換し、相手の意見を踏まえて自分の意見を伝え合うことができる。</p>	場面	「日常的话题」や「社会的な話題」について、ディスカッションをスムーズに展開する上で必要な表現を理解する。			○			<p>[知識]</p> <p>効果的なディスカッションをスムーズに進めるために必要な表現や流れを理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>[Sや] ディスカッションをするために「日常的话题」や「社会的な話題」について、「ディスカッション」に必要な表現や態度に注意しながら、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、伝える技能を身に付けている。</p>	<p>[Sや] ディスカッションをする上で、「日常的话题」や「社会的な話題」について、「ディスカッション」に必要な表現を用いながら、基本的な流れに沿って、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。</p>	<p>[Sや] ディスカッションをする上で、「日常的话题」や「社会的な話題」について、「ディスカッション」に必要な表現を用いながら、基本的な流れに沿って、情報や、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。</p>	1
Let's Try	「日常的话题」や「社会的な話題」についてディスカッションをする中で、適切な表現を選んで意見交換をする。			○										
「ディスカッション」のポイント	「ディスカッション」をする際の態度について、注意すべきことへの理解を深める。													
Follow Up	「日常的话题」や「社会的な話題」について、ディスカッションでよく使われる表現を効果的に使いながら意見交換をする。			○										

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
12	Daily Conversati on 4	(1) ア (2) アイ (3) ① ア(ア) (イ)	●「病氣やけがをしたとき」の表現を理解することができる。 ●「病氣やけがをしたとき」の表現を用いて、自分の考えや気持ち、情報などをやり取りすることができる。 [Sや]「病氣やけがをしたとき」の表現について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。	場面 その他の表現	「病氣やけがをしたとき」の表現に関する主な語句や表現を理解する。 「病氣やけがをしたとき」の表現に関するその他の表現について、理解を深める。			○			[知識] 「病氣やけがをしたとき」の表現に関する表現の意味や働きを理解している。 [技能] [Sや]「病氣やけがをしたとき」の表現について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。	[Sや]海外で「病氣やけが」をした時に対応ができるように、「病氣やけがをしたとき」の表現について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。	[Sや]海外で「病氣やけが」をした時に対応ができるように、「病氣やけがをしたとき」の表現について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。	1

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	Lesson 13	(1) ア Pictogram トイレはどこ？ (2) アイ (3) ① ア(ア) (イ)	<p>●人々がしている様子を描写するために「人々の様子」や「ピクトグラム」についての表現を理解して、考えを深めることができる。</p> <p>●「人・ものの様子」について、「人々の様子」や「ピクトグラム」に関する情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。</p> <p>[Sや]人々がしている様子を描写するために、「人・ものの様子」や「ピクトグラム」について、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。</p> <p>((L)「ピクトグラム」についての対話を聞いて、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ることができる。</p>	<p>Start Up</p> <p>Vocabulary</p> <p>「ピクトグラム」について、主な語句を理解する。</p> <p>Key Expressions</p> <p>キーセンテンス</p> <p>「ピクトグラム」について、分詞（現在分詞 / 過去分詞）を用いて、対話をする。</p> <p>Pair Work</p> <p>「ピクトグラム」について、分詞（現在分詞 / 過去分詞）を用いて、自分のことに変えて対話をする。</p> <p>Listening</p> <p>Listening</p> <p>「ピクトグラム」について、対話の概要や要点を聞き取る。</p> <p>Functional Expressions</p> <p>「図表を説明する」表現について、いろいろな表現を理解する。</p> <p>Pair Work</p> <p>「図表を説明する」表現を用いて、対話をする。</p> <p>Useful Expressions</p> <p>「ピクトグラム」に関連する内容で、分詞（現在分詞 / 過去分詞）を用いた表現を理解する。</p> <p>Quiz</p> <p>GOALの活動</p> <p>絵を見ながら、分詞（現在分詞 / 過去分詞）の文を作るゲームをする。</p> <p>Grammar for Communication</p> <p>分詞（現在分詞 / 過去分詞）の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。</p>	<p>(L)</p> <p>(R)</p> <p>Sや</p> <p>S発</p> <p>W</p> <p>(○)</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>[知識]</p> <p>人々がしている様子を描写するために必要となる「分詞（現在分詞 / 過去分詞）」に関する事項を理解している。</p> <p>「図表を説明する」表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>[Sや]人々がしている様子を描写するために、「人・ものの様子」や「ピクトグラム」について、「図表を説明する」表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>((L)「ピクトグラム」についての対話を聞いて、内容を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>[Sや]人々がしている様子を描写するために、「人々の様子」や「ピクトグラム」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。</p> <p>((L)「ピクトグラム」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取っている。</p>	<p>[Sや]人々がしている様子を描写するために、「人々の様子」や「ピクトグラム」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。</p> <p>((L)「ピクトグラム」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ろうとしている。</p>	2					

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間	
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
1	Lesson 14 Cool Japan ふるしきって、カッコイイね！	(1) ア (2) アイ (3) ① ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	<p>●「日本文化」を海外へ発信するために、紹介したい「日本文化」についての表現を理解して、考えを深めることができる。</p> <p>●「日本文化」を海外へ発信するために、「日本文化」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫し、理由とともに話して伝えることができる。</p> <p>[Sや] 紹介したい「日本文化」について、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。</p> <p>((L)) 「日本文化」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取ることができる。</p> <p>[W] 紹介したい「日本文化」について、自分の考えや気持ち、情報などを与えられたフォーマットを参考に、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。</p> <p>[S発] 紹介したい「日本文化」について、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、書いた内容を基にして、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。</p>	<p>Start Up</p> <p>Key Expressions</p> <p>Pair Work</p> <p>Listening</p> <p>Useful Expressions</p> <p>My Opinion</p> <p>Functional Expressions</p> <p>Speech</p> <p>Tips</p> <p>Follow Up</p> <p>Grammar for Communication</p>	<p>Vocabulary</p> <p>キーセンテンス</p> <p>Pair Work</p> <p>Listening</p> <p>Useful Expressions</p> <p>メモ欄</p> <p>Functional Expressions</p> <p>GOALの活動</p> <p>Tips</p> <p>Follow Up</p> <p>関係代名詞の文構造について理解し、「Gトレ」などの言語活動を通して活用する。</p>	<p>「日本文化」について、主な語句を理解する。</p> <p>「日本文化」について、関係代名詞を用いて、対話をする。</p> <p>「日本文化」について、関係代名詞を用いて、対話をする。</p> <p>「日本文化」について、対話の概要や要点を聞き取る。</p> <p>「日本文化」に関連する内容で、関係代名詞を用いた表現を理解する。</p> <p>「日本文化」について、「Hints」を参考に、情報や考えをメモとして書く。</p> <p>「例を挙げる」表現について、理解する。</p> <p>紹介したい「日本文化」について、自分の考えや気持ち、情報などを書いてまとめた文を用いて、発表する。</p> <p>発話の際の「文強勢」「文の区切り」「文のつながり」について理解する。</p> <p>「日本文化」について、プレゼンテーションをしたあとに、質問をして対話をする。</p>	(L)	(R)	Sや	S発	W	<p>[知識]</p> <p>「日本文化」を海外に発信するために必要となる「関係代名詞」に関する事項を理解している。</p> <p>「例を挙げる」の表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能]</p> <p>[Sや] 紹介したい「日本文化」について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、話して伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>((L)) 「日本文化」についての対話文を聞いて、内容を聞きとる技能を身に付けている。</p> <p>[W] 紹介したい「日本文化」について、「例を挙げる」表現などを用いて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝える技能を身に付けている。</p> <p>[S発] 「日本文化」を海外へ発信するために、紹介したい「日本文化」について、「例を挙げる」の表現などを用いて、自分の考えや気持ち、情報などを書いてまとめた文を基に、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。</p>	<p>[Sや] 「日本文化」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合っている。</p> <p>((L)) 「日本文化」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取っている。</p> <p>[W] 「日本文化」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えている。</p> <p>[S発] 「日本文化」を海外へ発信するために、「日本文化」について書いてまとめた文を基に、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えている。</p>	<p>[Sや] 「日本文化」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合おうとしている。</p> <p>((L)) 「日本文化」について、対話の概要や要点、必要な情報を聞き取るようとしている。</p> <p>[W] 「日本文化」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えようとしている。</p> <p>[S発] 「日本文化」を海外へ発信するために、紹介したい「日本文化」について書いてまとめた文を基に、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えようとしている。</p>	3

『VISTA Logic and Expression I』年間指導計画／CAN-DO／観点別評価規準例（サンプル）

太字は、各単元で特に重点を置く技能

月	L	学習指導要領の内容	レッスン別CAN-DO	コーナー	題材・場面・言語活動・言語材料	主な領域					評価の観点			配当時間
						(L)	(R)	Sや	S発	W	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
2	Activity Station 5	(1) ア (2) アイ ディベートのコツ (3) ① イ(ア) (イ)	<p>●「ディベート」をするために、そのルールや賛成・反対に分かれての主張の仕方について、理解することができる。</p> <p>●「日常的な話題」や「社会的な話題」について、賛成や反対の立場に立った場合の意見や主張などをまとめ、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。</p> <p>[Sや]「日常的な話題」や「社会的な話題」について、基本的な語句や文を用いて、賛成や反対の立場に立った場合の意見や主張などをまとめ、相手の意見や主張に対して、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。</p>	<p>ディベートの進め方</p> <p>Let's Try</p> <p>「ディベート」のポイント</p> <p>Follow Up</p>	<p>「日常的な話題」や「社会的な話題」について、ディベートを進める上でのルールおよび展開の仕方を理解する。</p> <p>「日常的な話題」や「社会的な話題」について、賛成側・反対側の意見を理解し、適切な表現を選ぶ。</p> <p>ディベートをする際に、事前に準備すべき点について、理解を深める。</p> <p>「日常的な話題」や「社会的な話題」についてディベートをすることを念頭におき、賛成側・反対側の意見を考える。</p>			○			<p>[知識] ディベートを進める上でのルールやディベートに必要な表現を理解している。</p> <p>[技能] [Sや]「日常的な話題」や「社会的な話題」についてのディベートを進める上で、賛成や反対の立場に立った場合の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。</p>	<p>[Sや]「日常的な話題」や「社会的な話題」について、ディベートの基本的な流れに沿って、賛成や反対の立場に立った場合の意見や主張を、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。</p>	<p>[Sや]「日常的な話題」や「社会的な話題」について、ディベートの基本的な流れに沿って、賛成や反対の立場に立った場合の意見や主張を、論理の展開や構成を工夫して、話して伝え合おうとしている。</p>	1